

# 支部探訪―釧路

支部長 高橋 和幸

## 平成二十二年には創立五十周年



例会風景

釧路支部の沿革史をひもとくと、昭和三十五年四月一日、本部承認を得て発足しました。支部設立時のメンバーは十名でした。今は亡き片村一氏と大橋年治氏も名を連ね、初代支部長は伊藤徹氏でした。その後も支部会員の努力で、会は発展を続け、平成二十二年には支部創立五十周年を迎えます。

### 写真例会―道新掲載が励み

平成二十年度の会員数は、三十五名で、そのうち十名が女性です。例会は二ヶ月おきを実施しています。この時は、会員・会友共に写真を持ち寄り(プリント・スライド各三点以内)、道展審査会員の片村洋市、佐藤武治、奥野時夫、工藤 男の四氏が輪番制で公開審査を実施しています。一位から五位まで選考します。その後、全作品について講評が加えられます。この時の上位各位と二位の写真の掲載を道新にお願いしています。このことが会員の励みとなり、上位入賞を願って作品作りに励んでいます。

### 「合同写真展」で深まる地域の交流

釧路には写真の「四団体」と呼ばれるグループがあり、毎年秋の芸術祭には、合同写真展を開催しています。課題を持って出品するサークルや自由作品を持ち寄るサークルなどいろいろで、和やかな交流の場となっています。これからも地域の写真文化発展のために「合同展」の開催を継続したいと思えます。

### 一般の人も参加の「撮影会」

支部四大事業の一つである「撮影会」は毎年秋に実施しています。昨年度は大雪山の裾合平で「紅葉の大雪山」撮影会を行いました。今年度は、秋のオンネットと雄阿寒岳山麓の撮影会を計画中です。参加者は会員のみならず、会員を増やすためにも、道新の社告で広く一般の人にも案内をお願いしています。

## 年度賞・入賞入選を祝う会



例会の累計得点と撮影会の入賞得点を合計し、最高得点者には市長賞、次点者には教育長賞、プリント・スライドの二位には北海道写真協会賞、三位には道新支社賞、四位には道写協釧路支部賞、五位には努力賞を授与し、来賓のご出席を賜り授与式を行っています。

また、会友の最高得点者には「奨励賞」が授与されます。また、「写真道展」の入賞・入選者の祝賀会も行っています。

### 「花火フォトコンテスト」開催

その他の事業として、「釧路大漁どんばく花火コンテスト」があります。主催は北海道新聞釧路支社ですが、道写協釧路支部が主管となり、要項、ポスター作り、作品募集、審査、入賞作品展示など、すべてを受け持ち、会員の協力を得ながら責任を果たしています。

## 実行委員会からのお知らせ

### 道展応募要項の変更

写真道展応募要項の注意事項に、これまで四つ

切プリントの寸法についての決まりがりましたが、第五十六回作品募集要項から削除いたします。基本的な考え方は今までどおり、額縁効果を意図した枠付や、極端に余黒部分の多い作品を容認するものではありませんが、従来の細かな寸法に苦慮することなく、一般的な四つ切サイズで応募してください。

また、デジタル写真の「二次的画像処理」に関して、例年事務局にも問い合わせがありますが、レタジの範囲のものを含みません。二次的画像処理とは、実際にはないものを挿入(加筆)したり、実際にあるものを消去(削除)した作品で、それは部門の性格上、第二部と第三部では認めません。

また出品票の「プリント」の欄ですが、写真機材を問いません。「銀塩プリント」か「インクジェットプリント」かのどちらかに○をつけてください。

### 写真協会・写真道展

### 事務局の変更

九月一日から、北海道新聞社事業局の組織変更に伴い、事務局は従来の北海道新聞社事業局から、事業局同フロアに位置する道新文化事業社へ移管されました。

これまでどおり、主催は北海道新聞社で実質的には変更はありませんが、事務局運営は文化事業社となりますので、ご周知お願いします。

- 事務局の担当者は
- 事務局長 若林 直樹(同社業務部長)
- 事務局次長 本間 俊(同社総務営業部長)
- 局 員 黒澤 憲(同社主任)

の三名です。  
06008711  
札幌市中央区大通西3丁目6

道新文化事業社内  
北海道写真協会事務局  
電話 01121105735  
FAX 01122073939